

令和7年度

浜松市立犬居小学校

第3回 学校運営協議会



令和7年10月8日（水）14：00～

令和7年度 第3回 学校運営協議会

浜松市立犬居小学校

< 日程及び内容 >

- 1 日程の説明（14：00～14：05） 多目的ルーム
- 2 授業参観（14：05～14：35） 各教室等
- 3 熟議（14：40～15：40） 研修室
 - 会長あいさつ
 - 校長あいさつ
 - 議長の選出・前回会議録の確認
 - ◎ 授業の様子、子供たちの様子について
 - ◎ 学校への支援
 - ・ 昨年度の活動報告
 - ・ 学校と地域が繋がりを強め、互いを盛り上げる支援について
 - ◎ その他
- 4 連絡事項（15：40～15：50）
 - 今後の予定
 - ・ 第4回学校運営協議会 2月 2日（月）午後
授業参観、熟議（学校関係者評価、学校運営協議会の自己評価等）
 - 学校行事等の予定
 - ・ すみれの里大運動会 10／25（土）予備日／26（日）
 - ・ 学習発表会 11／29（土）
 - ・ 持久走大会 12／11（木）
 - ・ 第4回学校運営協議会 2／2（月）
 - ・ 参観会・懇談会 2／13（金）
 - ・ 卒業式 3／17（火）

*会議録を作成してホームページに掲載します。お名前が掲載される場合があります。御了承ください。

令和7年度 犬居小学校 学校運営協議会名簿

委員

	氏 名		
1	渡辺 新五	元中学校長	会長
2	小林 優太	犬居小PTA会長（R7）	副会長
3	中 隆弘	前犬居小PTA会長（R6）	
4	酒井 まち子	主任児童委員	
5	山下 尚美	読み聞かせボランティア代表	学校支援CD
6	栗田 幸尚	元犬居小PTA会長（R3）	
7	山下 光之	元犬居小PTA会長（R5）	

学校支援CD

	氏 名		
	前田 浩子	学校支援CD	
	岡田 久世	学校支援 CD	

オブザーバー

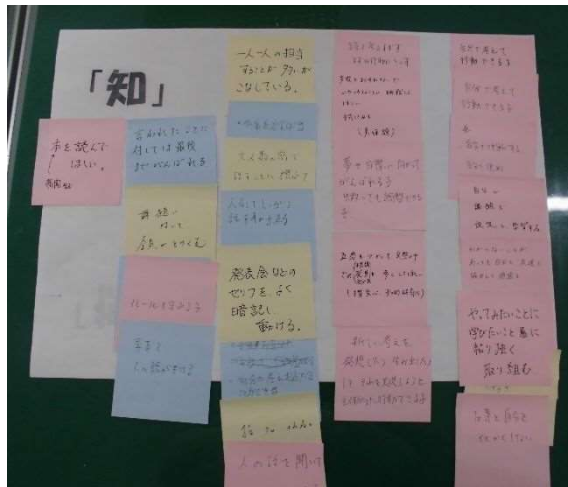
	氏 名		
	尾畑 佳志	春野支所所長	

令和7年度 第2回 犬居小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年7月25日（木） 13時00分から14時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立犬居小学校 多目的ルーム
- 3 出席委員 渡辺 新五、小林 優太、中 隆弘、酒井 まち子、山下 尚美、
栗田 幸尚、山下 光之
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校支援コーディネーター 前田 浩子、岡田 久世
- 6 学 校 堀田 洋一（校長）、米山 香奈（教頭）、山崎 淳子（CSディレクター）
石川 雄飛（教務主任）、堤 信久（教諭）、天野 克彦（教諭）
川坂 萌（教諭）
- 7 浜松市教育委員会 山本 俊行（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 学校支援コーディネーター 岡田 久世
- 10 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、第1回と同様、会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
会長あいさつ ・犬居小学校グランドデザインについて
- 12 会議記録
司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
◎ 犬居小学校グランドデザインについて
(1) 話合いの目的
(2) 学校職員を含めたグループごとの自己紹介
(3) ほめほめタイム①
学校職員・地域の方のよいところ
(4) 第4次浜松市教育総合計画について（校長より）
(5) 令和8年度犬居小学校グランドデザインについて
① ほめほめタイム②
犬居小学校の児童のよいところ・・・「徳」「知」「体」に分類
② 目指すこどもの姿
犬居小学校の児童の課題・・・「徳」「知」「体」に分類

③ グランドデザインの「徳」「知」「体」についてグループ協議

【A 知グループ：渡辺会長、中委員、前田、川坂、石川】



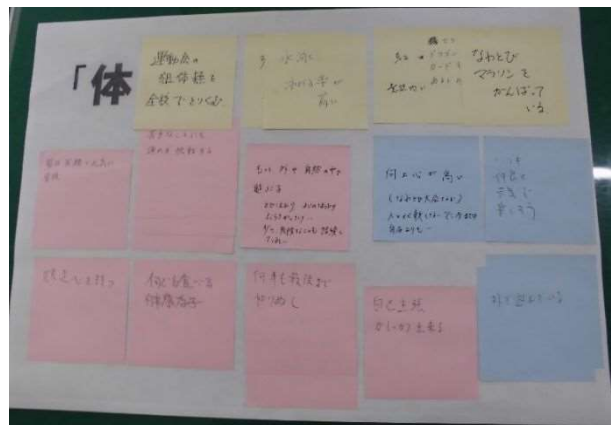
「かしこい子」

- グランドデザインの言葉の中に「積極的に」「進んで生かしていく」を入れるとよいと思う。
- 様々な場面で「積極的に」という前のめりのような姿勢がほしい。

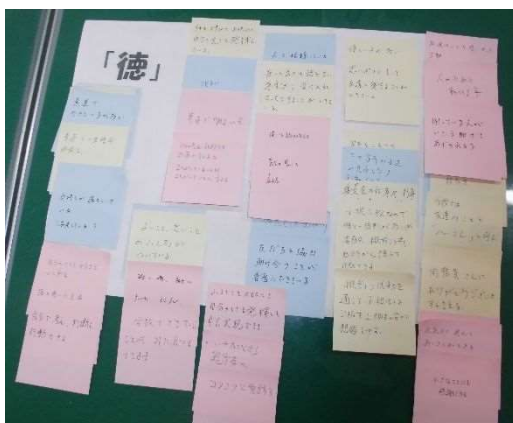
【B 体グループ：酒井委員、小林委員、山下尚美委員、教頭、天野】

「たくましい子」

- 「自分への挑戦」「自分らしさ」「自分の力を伸ばす」を入れていくとよいと思う。
- 自分のことを知って、自分の目標や、めあてを立てられる子になってほしい。



【C 徳グループ：山下光之委員、栗田委員、堤、山崎、岡田】



「やさしい子」

- 素直であることは、自分の色が無いとも感じられる。そこをどう伸ばしていくか。夢は、途中で変わってもよい。目指すものがあるからがんばれる。
- 伝えることが大事。伝えることで生まれるものが大きい。自分の思いを自分の言葉で伝えられる子供に。

④ 協議を通して

- 参加してみて学校は、教職員だけで成り立っているのではなく、地域の方に支えられて成り立っているのだなと感じた。(川坂)
- 地域の方のいろいろな視点で考えが聞けてよかった。(石川)
- 地域の方が、出されたのが「徳」が多かった。体・知は学校内でおさまっているから見えにくい。どのように発信していけばよいか。(天野)
- 話したことがない地域の方と話せてよかった。(堤)
- 第4次浜松市教育総合計画の「中山間地域等における教育環境の向上」の具体的な施策はどうなっているのか知りたい。(渡辺会長)
- 信頼し合って地域と学校がよい関係になっている。自分事として考えられている。ワークショップが素晴らしい。相互の子供理解が進んでいる。目指す子供の姿につながっていることが尊い。学校運営協議会は、人を大切にする文化をつくる・発信する場であると考えている。この学校運営協議会が持続していくように文化の継承をお願いしたい。(教育総務課 山本)

13 その他報告事項等

(1) 今後の予定について

次回第3回協議会を令和7年10月8日(水)午後を開催する旨の報告があった。

(2) 学校行事の予定について

運動会、学習発表会、持久走大会等について日程が伝えられた。

＜児童の実態＞

- ・与えられたことに、誠実に取り組むことができる子が多い。
- ・自ら課題を見ついたり粘り強く解決したりする力に欠ける。
- ・根拠を示して表現したり友達の考えに應對したりする力は弱い。

＜地域の実態＞

- ・昔から住んでいる住人が多く、他地域からの転居も増えている。
- ・地域の行事が多く、自分たちの地域や文化、歴史等に誇りを持っている。

＜保護者・地域の願い＞

- ・子供たちが楽しいと感じられる学校。
- ・学力を確実に定着させる学校。
- ・地域を誇りに思う子供を育成する学校。
- ・社会を生き抜くための資質や能力を身に付けられる学校。

＜教職員の願い＞

- ・主体的・協働的に学習に取り組む子。
- ・学んだことを学習に生かす子。
- ・自分らしさを大切にできる子。

【学校教育目標】

ゆめに 向かって がんばる子

春野ドリームプロジェクト

【犬居小学校 総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、自分の考えをきちんと持ち、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- (1) 地域素材をテーマとして、探究的な学習を行う過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の現状やよさに気付き、それらが様々な人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- (2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決のために自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析したりする力を身に付けるとともに、伝える相手を意識してまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、地域のために自分ができることを考え、積極的に社会に参画しようとする態度と行動力を養う。

探究課題		探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々（地域） ＜地域や学校の特色に応じた課題＞		地域探検を通して地域の様子を知り、地域のよさやそれを守る人々の思いが分かる。	自分の課題に合わせて情報を収集し、整理・分析したことを新聞やプレゼンにまとめることができる	地域に愛着を持ち、地域の活動に進んでかかわり、地域のよさを生かそうとする。
高齢者や障害者の暮らしとそれを支援する人々（福祉） ＜現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題＞		様々な立場の人の暮らしを知り、それぞれの苦労や工夫が分かる。	自分の課題に合わせて情報を収集し、整理・分析したことを新聞やプレゼンにまとめることができる	だれにとっても優しい地域となるように、自分ができることを考え、実践しようとする。
地域の産業の現状とそこに起きる産業問題（産業） ＜現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題＞		地域の産業の現状を知り、それを守る人々の工夫や努力が分かる。	自分の課題に合わせて情報を収集し、整理・分析したことを新聞やプレゼンにまとめることができる	地域の産業を守るために今、自分にできることは何かを考え、実践しようとしている。
地域や自分のよさの発見と自分づくり（キャリア） ＜児童の興味・関心に基づく課題＞		地域の歴史について調べたり、今の自分を見つめたりすることで、未来に向けた地域とのかかわり方が分かる。	自分の課題に合わせて情報を収集し、整理・分析したことを工夫してパンフレットやプレゼンにまとめることができる。	地域や自分のよさに気付き、自分の夢を実現するために何をすればいいのかを考え、実践しようとしている。
		評価の観点		
	学習活動	＜知識及び技能＞ 気付き、理解する力	＜思考力、判断力、表現力等＞ 調べ、伝える力	＜主体的に学習に取り組む態度＞ かかわる力
3年 4年 5年	・知ろう守ろう春野の産業（産業） ・春野のじまんを見つけよう（地域） ・大切だね思いやりの心（福祉） ※テーマは1年ごとに変える	＜指導方法＞ ・児童が自ら課題を見つけるための、課題意識を高める導入の工夫 ・児童の思いを生かした体験活動の重視 ・個に応じた指導の工夫・思考ツールを生かした協働的な学習活動の充実 ・教科との関連的な指導の重視 ・探究的なサイクルを意識した表現の場の設定	＜学習の評価＞ ・ワークシートやまとめた作品などのポートフォリオを活用した評価の充実 ・体験活動での様子や児童との対話 ・指導と評価の一体化の充実 ・学期末、学年末における指導計画の見直し	＜指導体制＞ ・地域の人材や保護者、専門家の協力の場の設定 ・人材バンクの構築や関係機関との連携 ＜評価の観点＞ ・課題を解決する力 ・課題を追究する力 ・かかわり合う力
6年	春野から世界へ 地域と私の現在・過去・未来			

＜各教科等との関連＞

各教科等及び総合的な学習の時間で身に付けた資質・能力を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにする。その際、言語能力、情報活用能力、コミュニケーションの能力など全ての学習の基盤となる資質・能力を重視する。

＜中学校との連携＞

- ・小学校の学びを中学校へつなげるために、児童生徒の学習状況などについて、幼小中一貫研修会を実施して相互に連携を図る。

令和7年度（前期）学校教育アンケート分析結果

【教職員版】浜松市立犬居小学校

「ゆめに向かって がんばる子」

この学校教育目標の達成をめざし、今年度も教育活動を進めております。今年度前期の活動を振り返り、今後の教育活動に生かすために、学校がめざす子供の姿に沿って質問を作成し、児童・保護者・教員に対してアンケート調査を行いました。御協力ありがとうございました。アンケート結果から分かった本年度前期の犬居小の児童の様子と、後期に向けた考察をお伝えします。

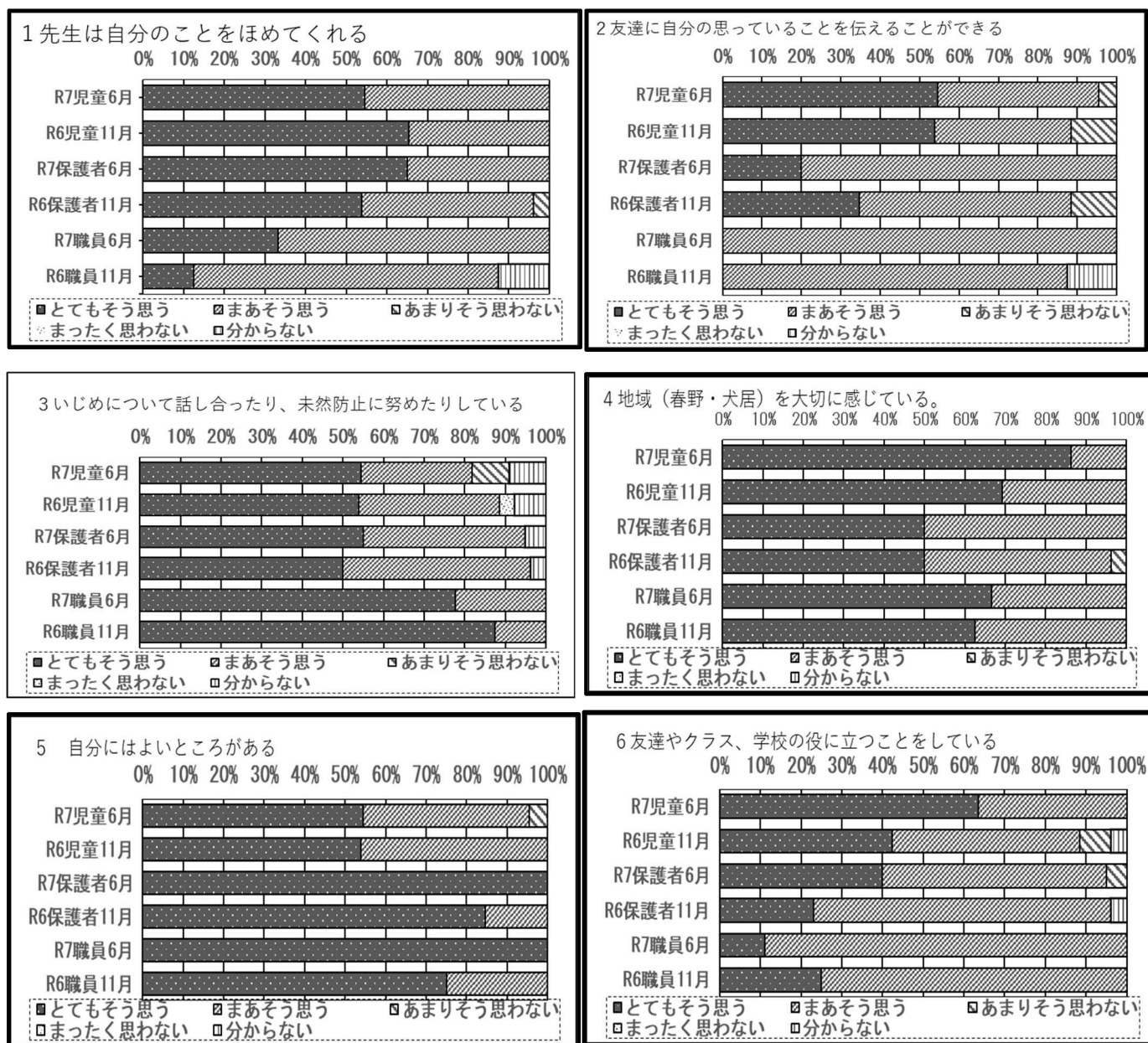
「とてもそう思う」「まあそう思う」を合わせた肯定的な回答の割合が、児童・保護者・職員三者とも全て9割以上のものを太線枠で、8割未満があるものを破線枠で示してあります。

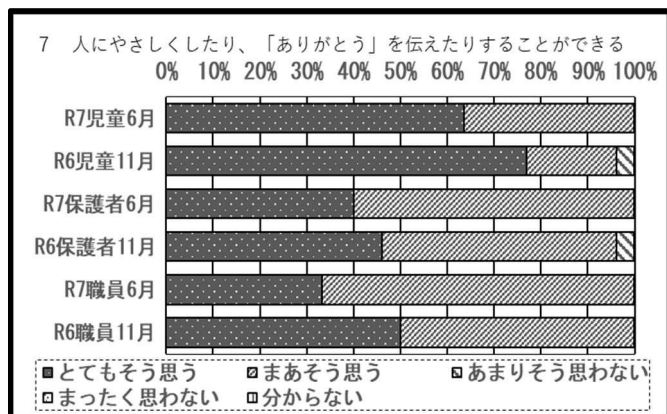
「やさしい子」

＜夢と希望をもって生活し、自他の良さに気付き、相手の立場になって考えた言動ができるこども＞



★★★★★ 「やさしい子」 アンケート結果 ★★★★★





【アンケートより】

①「1. 先生は自分のことをほめてくれる」「2. 友達に自分の思っていることを伝えることができる」「4. 地域（春野・犬居）を大切に感じている。」「5. 自分にはよいところがある」「6. 友達やクラス、学校の役に立つことをしている」「7. 人にやさしくしたり「ありがとう」を伝えたりすることができる」の6項目については、肯定的な回答が9割を超えました。昨年度後期には4.5.7の3項目のみだったことと比べると、改善できたことが多かったことが分かります。特に、1.4.7については肯定的な回答が100%となっています。

②一方で、昨年度の後期に引き続き「3. いじめについて話し合ったり未然防止に努めたりしている」については、肯定的な回答は9割以上になりませんでした。昨年度前期には①にあった項目ですが、2期連続で割合が低下しています。

【考察】

①昨年度後期の結果を受けて、本校では「思いを伝え合うこと」「自己肯定感・有用感を高めること」に力を入れ、取り組んでおります。どの職員も「全職員が全児童の担任」という意識をもって、日頃から児童を誉めたり頑張りを認めたりする声掛けを行っております。児童主体の委員会でも、子供たち自身が「よい子見つけ」に力を入れ取り組んできました。善い行いや頑張りを互いに認め合うことで、自己肯定感や有用感を高め、互いに受け入れ合い、思いを伝え合える関係作りができてきているようです。

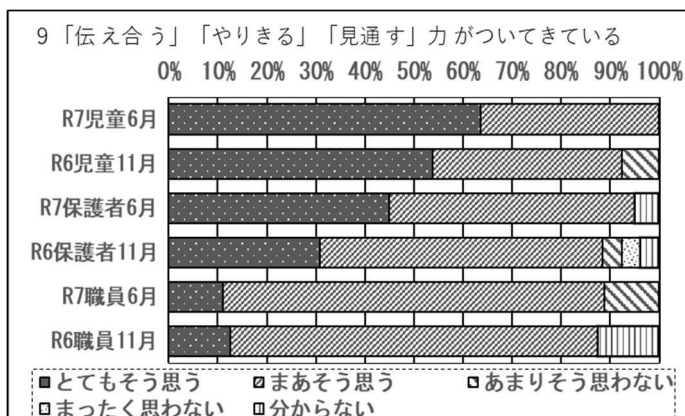
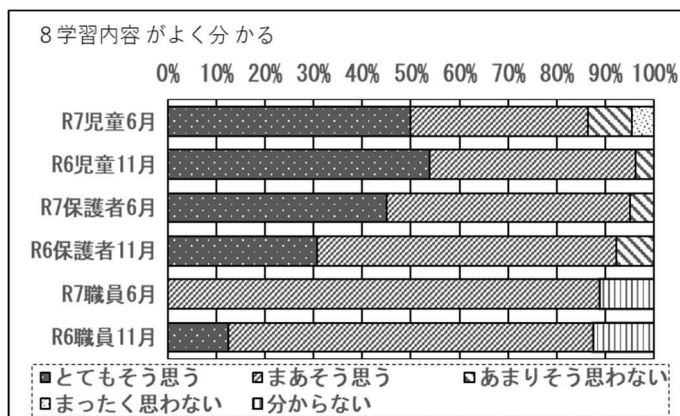
②「いじめの未然防止」についても重点的に取り組んでいるところです。「いじめはダメ！」という直接的な表現や指導よりも、いじめにつながってしまう言葉遣いや友達への態度についての指導、実生活の中で起こり得るいじめにつながる状況を想定した話し合いなどを、月換算で少なくとも1回は全校で機会を設定して行っています。児童の中には、いじめ防止のために行っていると意識せず、単にソーシャルスキルトレーニングと捉えて目的にまで思いが及んでいない子がいるものと思われます。これまで以上に児童に分かりやすい活動になるよう改善してまいります。

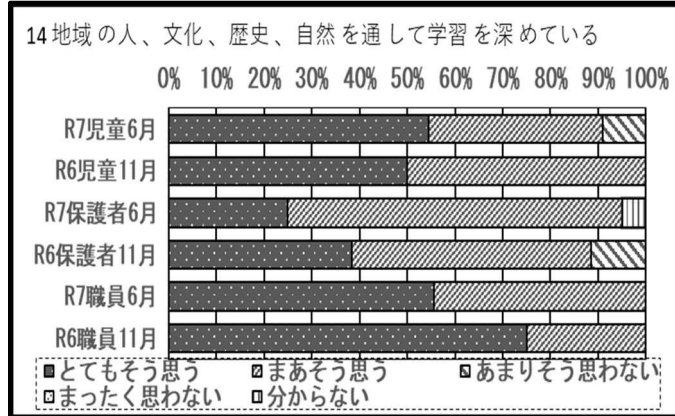
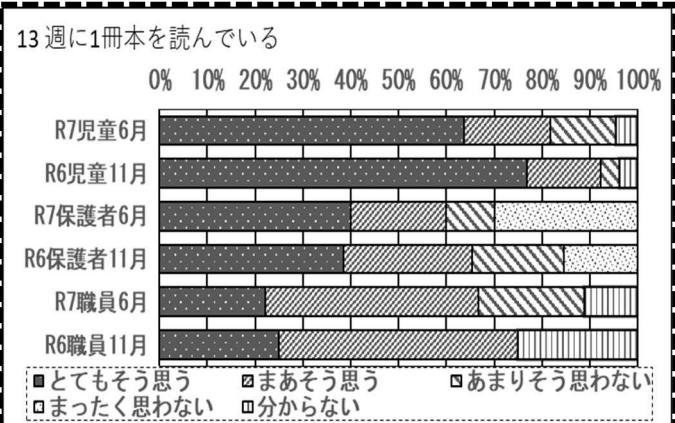
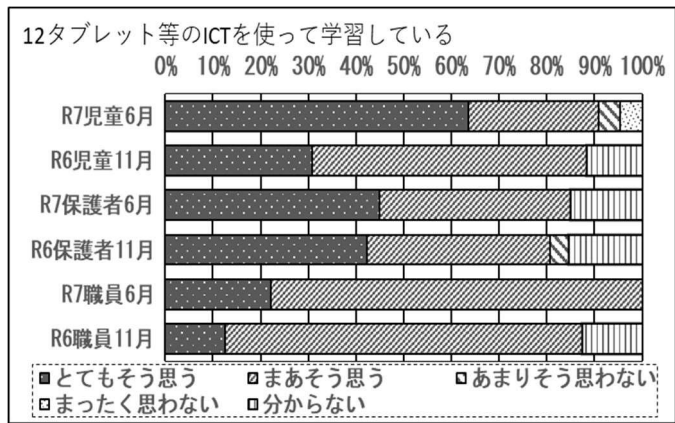
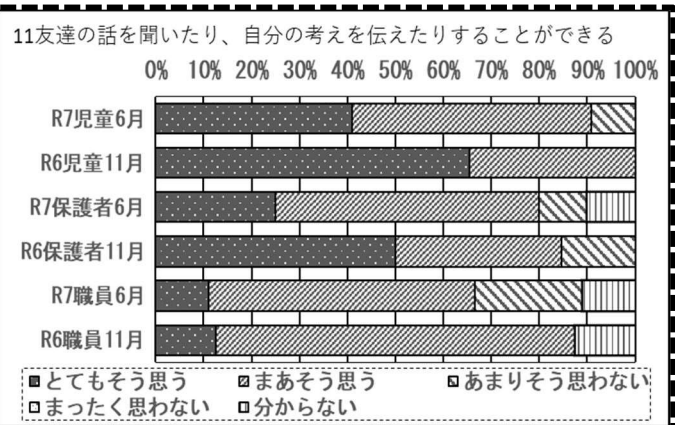
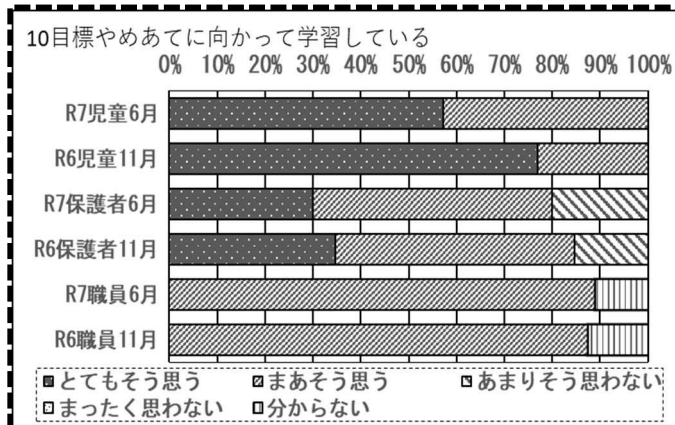
「かしこい子」



<自分の課題に気づき、主体的・協働的に学び、学んだことを様々な場面で生かしていくことができることも>

★★★★★「かしこい子」アンケート結果 ★★★★★





【アンケートより】

㊦ 「14. 地域を通して学習を深めている」の肯定的な回答が9割を超えています。また、「9. 伝え合う、やりきる、見通す力がついてきている」「12. タブレット等のICTを使って学習している」については、9割は超えていませんが改善が見られます。

㊧ 「11. 友達の話の聞いたり、自分の考えを伝えたりすることができる」への回答が低くなっています。その他「10. 目標やめあてに向かって学習している」「13. 週に1冊本を読んでいる」が8割を下回っています。

【考察】

㊦ 総合的な学習の時間や生活科、様々な体験活動の中で、地域の方に教えていただいたり、サポートしていただいたりしながら「春野・犬居を題材にした学び」を行ってまいりました。子供たちの中にふるさとを大切にしながら、そこに根差した学びが定着していることがうかがえます。今後は社会科や理科などその他の教科の学習においても、児童の生活の実態や地域の題材と結び付けて分かりやすく学習を進め、学習効果を上げることができるよう工夫してまいります。

㊧ 肯定的な回答が9割を超える項目が1つしかありませんでした。項目8～11を総合して考えると、学習内容の理解に困難を感じながら、目的がはっきりしないまま授業に参加している児童が一定数いることが分かります。大きな目標や夢がはっきりしていなくても、比較的到達可能な、自分に近いところにめあてを定め、スモールステップで達成感を味わいながら、分かる喜びを実感できる工夫が必要だと考えられます。一人一人の児童が、それぞれ自分に合っためあてや課題を見出し選択したりして、それらを解決していく、個別最適な学びを実現できるよう、職員一丸となって努力してまいります。

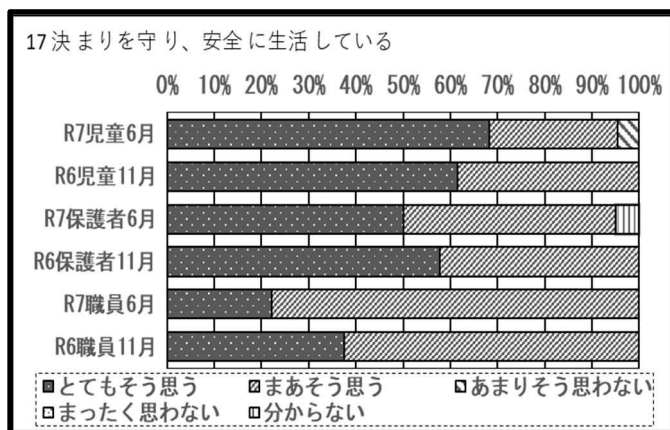
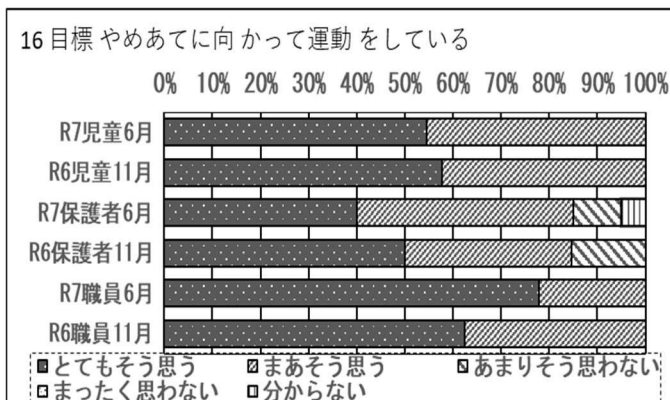
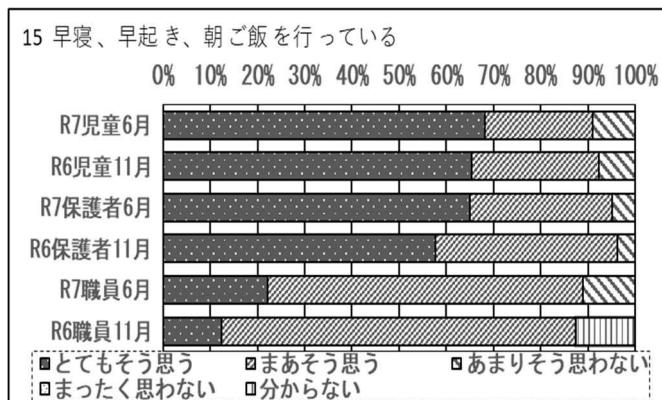
読書については、本校では読書推進のための様々な活動が行われています。本年度より始めた取り組みもありますので、効果が表れるまでもう少し様子を見たいところです。また、高学年では年齢相応にドラゴンブックの難度も上がっており、読み終えるまでに時間がかかるため、時間がある時にはできるだけ読書を進められるよう、声を掛けていきます。

「たくましい子」



＜自分の健康や体力、安全について理解すると共に、めあてをもって努力し、最後まであきらめずにやり抜く子供＞

★★★★★「たくましい子」アンケート結果 ★★★★★



【アンケートより】

㊦「14. きまりを守り、安全に生活する」については、肯定的な回答が9割を超えました。また、「13. 目標に向かって運動している。」については全体としては9割を超えていないものの、児童と職員は頑張りを感ずることができている結果となりました。

㊦昨年度あたりから「12. 早寝・早起き・朝ご飯を行っている」に対する回答が下がっている状態が続いています。

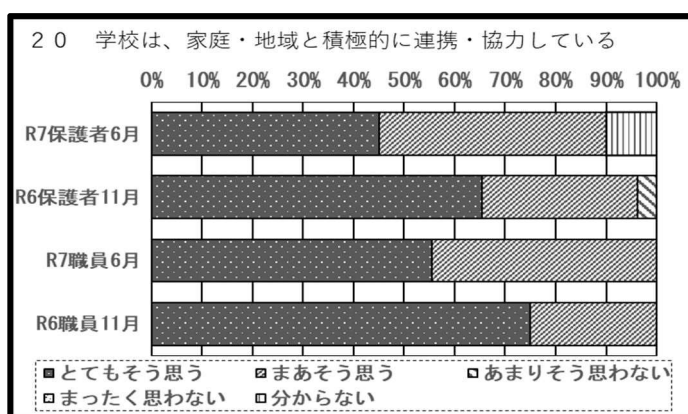
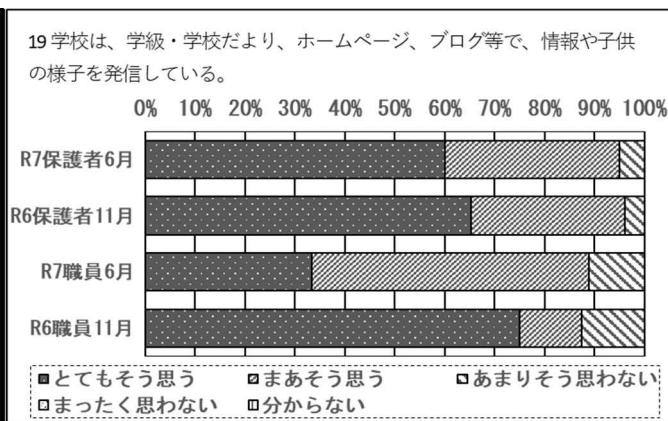
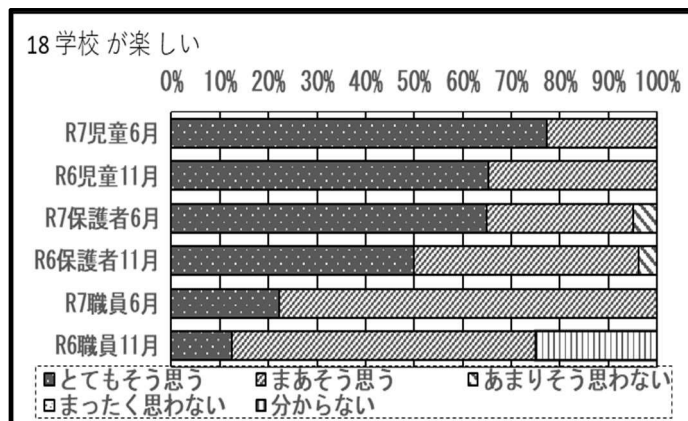
【考察】

㊦規律を守って生活する児童が多いということは、安心・安全に学校生活を児童が送ることができていると言えるので、ありがたく思います。また、「13. 目標に向かって運動している。」については、後期に入って運動会や持久走、縄跳び大会に向けた取り組みが始まると、保護者の方々にもお子さんたちの頑張りを実感していただけるのではないかと思います。

㊦「12. 早寝・早起き・朝ご飯を行っている」については、数年前までは100%に近い状態だっただけに残念に思っています。夜遅い時間までゲームをしていたり、ゲームをする時間を確保するために朝とても早い時間に起きたりしている子がいます。そのような子は睡眠不足で体調不良を訴えたり、午後の授業になると、眠くて授業に集中できなくなってしまうことが多いようです。今一度、ゲームや動画の視聴時間の見直しや、中高生の兄弟の生活時間との区別をつけることなど、御家庭で確認し合ってください。学校からも保健便りやおはようカード等で子供たちに呼びかけや意識付けを行ってまいります。

◆その他

★★★★★ 「その他」 アンケート結果 ★★★★★



【アンケートから】

㊦「18. 学校が楽しい。」の肯定的な回答が、昨年度後期に引き続き、児童、保護者、職員とも9割を超えました。また、設問20の学校と家庭・地域の連携についても保護者、職員ともに9割を超える肯定的な回答が得られました。

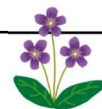
㊧設問19の情報の発信につきましては、前回よりもやや低下が見られました。

【考察】

㊦前回に引き続き、「18. 学校が楽しい」への児童の

肯定的な回答が100%に達していること、更に「とてもそう思う」の割合が増えていることを本当にうれしく思います。学校と家庭・地域の連携や、情報発信についても肯定的な回答を多数いただいたことから考えると、学校、家庭、地域が情報を共有しながら連携して子供たちの頑張りを支えることができているからこそ、子供たちが日々の学校生活に満足できていると言えます。今後も更に連携を深め、子供たちの自己実現を支えてまいります。

総括

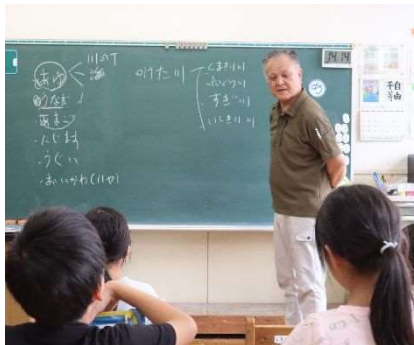


今回のアンケートでは、肯定的な意見が9割以上のものが大きく増えました。特に、前回課題として挙がっていた、「思いを伝え合う」とことと「自己肯定感や自己有用感を高める」ことについては、成果が表れつつあることが分かりました。

一方で、学習面で満足できていない回答が多かったこと、いじめ未然防止への取り組みが意識できていない児童がいること、読書の習慣化でまだまだ努力が必要なことなど、これから更に力を入れて改善していかなければならない課題もよく分かりました。後期の指導の中で、改善に向けて努力してまいります。末筆になりますが、多岐に渡る学校アンケートへの御協力、ありがとうございました。

地域を学ぶ学習に地域の方々が活躍中！

3、4、5年生 総合的な学習の時間「知ろう守ろう春野の産業」

天竜区観光協会春野支部 杉山さん	笑顔畑の山ちゃんファーム 山下さん	気田川漁業組合 大澤さん
		
＜観光業＞ 天狗面やはるてん君、東海自然歩道、お店の中の工夫などについて教えていただきました。	＜農業＞ 野菜を育てるときに心掛けていることや農業で春野を元気にする計画について教えていただきました。	＜漁業＞ 全国的に有名な気田川にいる魚のことや、アユが川で生まれて海で育つことなどを教えていただきました。

森下林業 森下さん	宇野茶園 宇野さん
	
＜林業＞ 伐採方法や本数、仕事で使う道具、山の広さ、動物たちが住みやすい森づくりなどを教えていただきました。	＜農業＞ お茶栽培で使う機械やお茶の木の手入れ、ウーロン茶の作り方などについて教えていただきました。



春野地区の産業について、仕事内容や大変なことやりがいなどを専門家の視点から子供たちに分かりやすく話してくださいました！

自分たちが住んでいる春野の魅力を知ることができました。ありがとうございました。

トーチ棒の木を用意していただきました

三ヶ日青年の家で行われた宿泊訓練のキャンプファイヤーで使用するトーチ棒を、昨年度は、渡辺さん、今年度は追平さんが、用意してくださいました。ありがとうございました。



犬居小・読み聞かせボランティア

＜ 本と友だち「おはなしゆうえんち」 ＞

犬居小学校には「おはなしゆうえんち」という読み聞かせボランティアの会があり、20年以上活動が続けられています。毎月、子どもたちにすてきな本の読み聞かせをしていただいています。今回は「おはなしゆうえんち」の発足当初からのメンバーで、昨年度末まで、この活動をけん引してくださった村松克子さんにお話を伺いました。



唐沢さん、井堀さん、桐下さんに誘われて、活動を始めました。

天竜図書館の読み聞かせ講座や浜松での県主催の講座などに参加して読み聞かせについて学びました。15分の中で読むことを含め、選書が難しかったのですが、読み聞かせをすることはとても楽しかったです。

私は、子供の頃は外で遊ぶ方が好きで、あまり本を読まなかったもので、読み聞かせの活動は大人になって本を読むよい機会になりました。読み聞かせをやっていなかったら読書の楽しさなどを知らないまま通ってしまったので、「おはなしゆうえんち」に参加してよかったです。

コミュニティ・スクールって何？

保護者や地域の方も学校運営に加わる「学校運営協議会」を設置している学校です。

犬居小学校は、令和2年度からコミュニティ・スクールです。地域と一緒に「特色ある学校づくり」を進めていくことで、学校の教育活動がとても充実します。

地域のみなさんにとっては、学校と連携・協働して子供たちを育むことにより、地域の活性化につながっていくこともできます。

私たち学校支援コーディネーターは、「学校運営協議会」での話し合いを受け、学校の運営に必要な支援をするために、学校と地域をつなぎ、地域のみなさんによる学校支援活動を推進しています。

2学期もご協力よろしくお願いします。



小天狗だより

＜春野中学校区の目指す子供像＞

春野を誇りとし、夢や希望に向けて粘り強く努力することも

＜学校教育目標＞

ゆめに向かって がんばる子

犬居小 HP www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/inui-e

「つたえあう」～60周年に向けて～

校長 堀田洋一

7月下旬、初めて「春埜杉」を訪ねました。「春野のパワースポットです。一度は足を運んでください！」と言われていましたが、なかなか足を運ぶことができませんでした。「・・・（言葉にできない）」というのが春埜杉を見ての感想です。春野の歴史と共に、大きなエネルギーを感じました。

犬居小学校もパワースポットの1つです。子供たちの笑顔からは、大きなエネルギーを感じることができます。保護者・地域の皆様には、運動会や学習発表会等、ぜひ足を運んでいただき、子供たちの笑顔に触れていただければ嬉しく思います。

【2学期始業式より】

犬居小学校の教育目標は「ゆめに向かって がんばる子」です。教育目標につながる言葉として「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」の3つがあります。夏休みに開催した学校運営協議会では、3つの言葉について委員の皆さんと教職員で話し合う時間を設けました。始めに「ほめほめタイム」を行いました。皆さんが行っている「良い子見つけ」と似た取組です。犬居小の子供たちの良いところを皆で出し合いました。すると…



「素直で優しい」「仲良く元気で楽しそう」「自分の役割を最後まで頑張ることができる」「行事を頑張る」「人前でしっかり話することができる」「助け合いが普通にできる」「下の学年の子たちの見本となり行動できる」等々

たくさんの言葉が聞かれました。紹介したのは、地域の皆さん（学校運営協議会委員）の声ですが、先生たちからもたくさんの言葉が聞かれました。そこで、私の方から「子供たちがどのように成長していくと、更に嬉しいですか？」と聞いてみました。皆さんから聞かれた言葉をキーワードで拾ってみます。

「積極的に」「自分らしく」「自分の思いを」「自分の言葉で」

私は、本校が進めているキャリア教育「つやみい」の「つ」に関わる言葉が多いように感じました。2学期は、1学期や昨年度以上に「つ」にチャレンジしてほしいと思います。「つ」は「つたえあう」です。「つたえる」とは違います。6年生が実現したいと考えている「60周年イベント」に向けても、重要なキーワードだと思います。クラスの友達と、犬居小の皆と、お家の人や地域の方々と色々な「つたえあう」をしていきましょう。「笑顔いっぱい楽しい学校」を広げていきましょう！

※令和8年度は犬居小統合60周年です。

10月の主な行事予定

1日（水）修学旅行1日目	22日（水）運動会総練習②③
2日（木）修学旅行2日目	24日（金）B日課 運動会準備⑤ 1～3年4時間授業
6日（月）すこやかタイム	25日（土）すみれの里大運動会
7日（火）稲刈り（予定）	26日（日）運動会予備日1
8日（水）学校運営協議会	27日（月）振替休業日 運動会予備日2
9日（木）おはなしゆうえんち	29日（水）B日課4時間 給食なし
13日（月）スポーツの日	30日（木）移動博物館 新体力テスト
14日（火）ALT SGL	31日（金）身体測定 月曜日課 代表委員会
15日（水）人権教室	
16日（木）月曜日課	
20日（月）ぶっくる	
21日（火）ALT	

くわしい日程等については、犬居小学校（担当：石川）まで御連絡・御確認いただきますようお願いいたします。

PTA 整備作業

暑い中「PTA整備作業」への御協力ありがとうございました。2学期も毎朝の持久走練習、新体力テストや10月末の「すみれの里大運動会」に向けての練習等で子供たちが運動場を使用する機会が多いです。保護者の皆様のおかげで大変きれいになり、活動しやすくなりました。



浜松市営住宅解体工事のお知らせ

8月1日よりプール横の浜松市営住宅の解体工事が始まっています。12月まで工事が予定されています。騒音や車両等の出入りが予想されています。工事車両については、子供たちの登校後に入るように業者にはお願いしてありますが、下校時等の安全についても、今まで以上に注意を払っていききたいと思います。

市営住宅南側のスペースも使用できない状態になっています。工事終了まで、送迎等の駐車は幼稚園西側のスペースを使用してください。駐車の際は、緊急車両の通行の妨げにならないように停めてください。何かと御不便をお掛けしますが、よろしくお願いします。

